

子どもの足を守る靴選び



ポイント

ベルトで足にフィットできる

中敷きが出せる

必ず計測して選ぶ

つま先はゆとりがある

靴底は衝撃吸収でき滑らない

足の指の付け根で曲がる

踵が硬くしっかり守られている

つま先が少し反りあがっている

POINT
1

ベルトで足にフィットできる



しっかりしめず



しっかりしめた



POINT
2

中敷きが取り出せる 👉 サイズ確認



中敷きで見るポイント

足の形に合っているか？

小指と親指ははみ出していないか？

つま先の余裕はあるか？

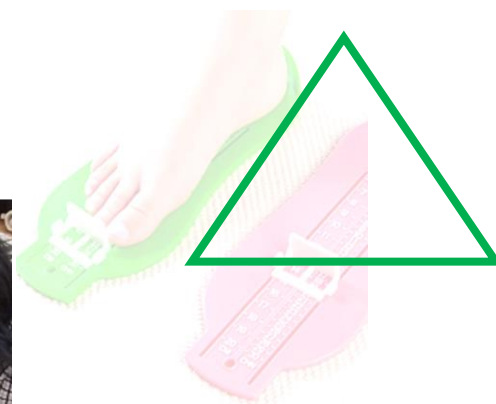
小さい靴は5～8ミリ、14.5センチ以上の靴は1cmほど

かかとを合わせる



POINT
3

必ず計測して選ぶ『自分の足を知る』



本当に幅広なのか？ 細めなのか？ どんな形なのか？

POINT

4

つま先はゆとりがある



狭



ゆとり有

POINT

5

靴底は滑らず硬すぎない



軽量発泡材だけのものではなく、
しっかり合成ゴムで構成されているもの

POINT

6

指の付け根で曲がる



捻じれない

POINT
7

かかとはサイドからしっかり守られている



POINT
8

つま先が少し反りあがっている

